

視聴覚教育

この一年の歩み

視聴覚指導員 内田 義和

今年度は、岡崎市視聴覚ライブラリーの移転、および郵政大臣の二回の視察が特筆すべきことである。

視聴覚ライブラリーが昭和六十一年に市役所八階から太陽の城に移転して十年半が経過し、今度は最新の設備を有する岡崎市情報ネットワークセンターの一角を占めることになった。高度情報通信社会といわれる今日、ライブラリーも設備の充実とともに今まで以上に幅広く効率的な情報提供を求められることになり、それに対応するための移転とも言える。そして自作ビデオ作品や記録映像など貴重な映像資料をデジタル化して収納・蓄積するために、新しいメディアとして注目を集めているDVDを活用したデジタルビデオライブラリーシステムを構築しつつある。

また、今年度は郵政省のマルチメディアモデル都市整備事業の研究指定の最終年度でもあった。先駆的に開発研究を進めた様子は広く知ら

NO. 231

発行日 9. 3. 12

発行 岡崎市AVL
編集 広報委員会

視聴覚用語

『インストール』
ソフトをパソコンのハードディスクなどに組み込んで動かせるようにすること。この作業を行って初めてソフトが動作できる環境が作られる。

れるところとなり、研究の現状と成果を直接見たいということと二人の郵政大臣が訪問された。

両大臣に三年間の研究実践の着実な成果と、その背景にある岡崎の視聴覚教育の実績と歩みの確かなことを認めていただけたことは大変意義深い。これは『マルチメディアモデル都市岡崎』を内外に強く印象づけることにもなった。

一方、市内小学校への本格的なパソコン導入が開始され、三月一日には新たに二十一校で利用できるようになった。

自作教材制作の関係では、全国自作視聴覚教材コンクールにおいて文部大臣賞（四年連続）一点、優秀賞三点、入選一点を受賞したのをはじめとして、愛知県自作視聴覚教材コンクールにおいても最優秀賞一点、優秀賞四点、優良賞二点、佳作一点を受賞した。また、日本視聴覚教育賞論文において、美川中学校が奨励賞を受賞した。このような面からも岡崎の視聴覚教育の質の高さを示すこととなった。

このように今年度も素晴らしい成果が上がっている。今後さらなる発展的・先進的な取り組みを推進していきたい。

|| 視聴覚教育あれこれ ||

小学校二十一校に パソコン教室完成！

岡崎市の平成八年度小学校パソコン教室整備事業として、美合小学校をはじめ二十一校に、各校十一台を基本として（教師用一台、他、児童用）、パソコンが導入された。

配置校

- 美合小 緑丘小 竜美丘小 広幡小 竜谷小
- 山中小 本宿小 生平小 秦梨小 常磐東小
- 常磐小 奥殿小 細川小 岩津小 矢作東小
- 矢作北小 矢作南小 六ツ美中部小
- 六ツ美南部小 小豆坂小 六ツ美西部小

OS（オペレーティングシステム）としてはWINDOWS 95とTOWNS-OSの両方が利用できる機器が導入された。教師用のソフトとしては、教材作成ツール、データベースを中心に整備される。児童用のソフトとしては、統合ソフトをはじめ、各教材・領域の学習ソフトが順次配布されていく予定である。

小学校におけるパソコンリテラシーを高めるとともに、小学校一年生から六年生まで、授業のそれぞれの段階での活用が期待されている。



低学年の子供による

視聴覚機器の活用

竜美丘小学校 島田 繁直

本校では、自分が調べたことや考えたことを視聴覚機器を活用して発表する場面を多く設定するようにしている。高学年だけでなく、低学年の子供たちでも機器の操作に慣れれば、高学年と同じように活用できる。特に手軽に活用できる機器として、教材提示装置やデジタルカメラがある。本校では、それらの機器が生活科の授業でよく活用されている。

教材提示装置は、ピントや映し出す範囲を設定さえしておけば、低学年でも簡単に扱える。二年生二期の「手紙を出そう」の単元では、子供が封筒やはがきへの住所と名前の書き方を調べたものを提示しながら説明した。テレビ画面に大きく映し出されるため書き方がよく分かり、教師が説明を加えなくても、実際に間違えずに書くことができていた。このように教材提示装置は手軽に使える。一年生一学期の「がっこうたんけん」の単元でも、学校探検をして見つけたことの発表に活用された。デジタルカメラは、公園に行つて自分の見つけ



た「秋」を撮影し、教室に戻つてからテレビ画面に映し出して発表するときに使った。撮影した画像がすぐに確認でき、また撮り直しが簡単にできるため、子供たちに好評だった。

このように、低学年の子供たちでも視聴覚機器を効果的に使うことができる。今後も、より効果的な活用をめざして取り組んでいきたい。

II レッツ トライ II

音楽授業における多重録音の利用

音楽の授業では、合唱をしたり、リコーダーによる重奏を行ったりしますが、小規模校では、人数的に十分な合唱や重奏を行うことができないことがあります。

そんなときに、多重録音を行つて合唱や重奏を楽しむことができます。もちろん多チャンネルの機能がついている機器があればそれにこしたことはありませんが、通常は2チャンネルが限界で、それも片方ずつということが不可能な場合が多いと思います。そこで、ラジカセやカセットデッキをつないで、そのマイクミキシング機能を利用して録音を重ねるといった方法を利用してみませんか。ピアノに、他の楽器を組み合わせ、さらに歌声などを重ねていくと、気分はスタジオミュージシャン、子供たちの意欲化を図ることができます。

(奥殿小 古川 浩)

ライブラリーだより

県自作視聴覚教材コンクール結果

愛知県教育委員会・愛知県視聴覚教育連絡協議会が主催する平成八年度愛知県自作視聴覚教材コンクールにおいて、本市から応募した八作品が次のようにすべて入賞した。

☆最優秀賞

「花こう岩が語る地殻変動」(中三理)

〔ビデオ〕岡崎市AVL・理科部

☆優秀賞

「水耕栽培のトマト作り―限られた土地を生かして―」

(小五社) 〔ビデオ〕岡崎市AVL・社会科部

「線香花火―指先に願いをこめて―」(中二社)

〔ビデオ〕岡崎市AVL・社会科部

「大規模農業への挑戦」(小五社)

〔ビデオ〕岡崎市AVL・社会科部

「ササユリの里を守る」(一般)

〔ビデオ〕岡崎市AVL・理科部・社会科部

☆優良賞

「伝統の技を守る―三河仏壇―」(小五社)

〔ビデオ〕岡崎市AVL・社会科部

「まさちちようじゃ(真福長者)」(幼稚園)

〔スライド〕市立幼稚園現職教育部

☆佳作

「Joyful English-KATE'S HOME STAY」(中三英)

〔ビデオ〕岡崎市AVL・英語科部

※編集後記※

今年度も月報「視聴覚教育」に、さまざまな実践例やご意見をお寄せいただきありがとうございました。来年度も魅力ある紙面にしていきます。